

泊瀬朝倉宮跡(桜井市)

はつせ 泊瀬朝倉宮跡の候補地は幾つかあるようだが、泊瀬谷の入り口にあたる脇本遺跡は5世紀代のものについては雄略天皇の泊瀬朝倉宮跡と推定されており、春日神社の辺りはその中心地らしい/正面は脇本遺跡のエリアで、背後の麓に春日神社が所在する



ここが春日神社



前方が社殿



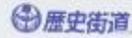


春日神社本殿

(指定文化財)

三間社本造り、身長の計画は二間からなり、前
造及び土し。建築奉行に三口の扉を設けて身寄と
している。身寄の五段と御祭壇には縁を付け、貫貫
四隅柱に彫飾子を施す。掃帚欄を定として、扉
両側に五段を設け、正儀中央一隅は、五段の木階
と張り高欄を設けている。屋根は檜瓦葺である。
本殿は焼物・紅葉など、社説の手立がすくなく一
間社春日造であり、棟木廻りから寛文八年(一六六三)
の建であることが明らかで、貴重な社説である。

校井市教育委員会



春日神社本殿

(県指定文化財)

三間社春日造で、身舎の側面は二間からなり、前面吹放とし、後面梁行に三口の板扉を設けて身舎としている。身舎の正面と両側面には縁を付け、背面両端柱に脇障子を取付け、縁高欄を巡らしている。向拝には浜縁を設け、正面中央一間に、五級の木階と登り高欄を取付けている。屋根は檜皮葺である。

本殿は組物・虹梁など、細部の手法がすぐれた三間社春日造であり、棟木銘から慶長八年(一六〇三)の建立であることが明らかで、貴重な建造物である。

桜井市教育委員会

近くに他の候補地もあるが、初瀬谷全体が宮処であった可能性もあると云う/飛鳥に宮が移るまで三輪山の西南麓から香具山辺り一帯は、大王(天皇)や皇后の宮が十三もあったと伝えられ、大和王権の中心地域であったらしい

優しさいっぱい 記紀・万葉
大和さくらい
100選

公式サイト

泊瀬朝倉宮(雄略天皇)伝承地
《記紀・万葉ゆかりの地》

桜井市では、“優しさいっぱい 記紀・万葉 大和さくらい”事業を実施し、市内外より多数の応募をいただきました。市民目線で選ばれた100選は、推奨できるとっておきの“場所”や“もの”です。美しさ、雄大さ、奥深さをご堪能ください。

大和は 園のまほろば たたなづく青垣 山ごもれる 大和しうるわし

桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会
連絡先 / 桜井市役所 ☎074-42-9111

拜殿





背後が本殿



本殿は檜皮葺三間社春日造で、組物・虹梁など細部の手法がすぐれ、棟木銘から慶長8年(1603年)の建立と云う



奥へ進む



これは末社の稲荷社



そこで振り返って見たところ



こんな境内であった



参考ホームページ

<https://sakurai-kankou.jimdo.com/%E5%90%8D%E6%89%80/%E5%88%9D%E7%80%AC%E9%81%93%E5%91%A8%E8%BE%BA/%E6%B3%8A%E7%80%AC%E6%9C%9D%E5%80%89%E5%AE%AE%E4%BC%9D%E6%89%BF%E5%9C%B0/>

<https://ryobo.fromnara.com/palace/p021-1.html>

http://inoues.net/club4/0173hasedera_1.html

<https://ameblo.jp/benben840105/entry-12365762768.html>

